

# ジャーナリズム史 I

## 歴史を考える-4

現代マス・メディア、マス・コミュニケーションの成立の歴史をたどる  
参考文献 [授業頁](#) [授業資料](#)

## 8.放送の時代へ

- 1906年 ラジオ
- 1920年代 ラジオの定時放送始まる 米ピッツバーグ( ? )局
- 1920~30年代 各国でTV実験放送盛ん 日本=( ? )「イ」の字(1926)
- 第二次大戦後 各国でTVの定時放送始まる。1950:5, 1970s:138ヶ国

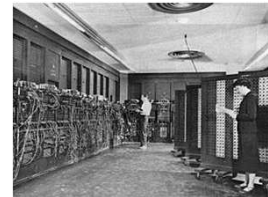
## 9.ニューメディア時代の到来

- 1950~60年代 衛星による中継 CATV
- 1970年代 文字放送・多重放送の開発
- ホットからCTSへの新聞編集・印刷工程の開発
- 1980年代 放送・通信衛星の開発、実用化
- 新聞のファクシミリ印刷、現地印刷
- 多チャンネル、情報通信、映像、ニュースの収集・配信(ENG)

## 10.Computers & Satellites

- 鉄道
- 郵便
- 電信:有線→無線
- 電話:有線→無線
- ラジオ
- カメラ・映画
- テレビ
- 蓄音機・録音機

- ENIAC



## 11.衛星の時代

- 衛星の実用化は多回路=マス・メディア、電話、電気通信、ビジネス、銀行、商業、
- 農業、鉱業、航空、海運、気象、娯楽=で汎用可能
- 1957-79年までに2,100の衛星が打ち上げられた。海事衛星、軍事衛星
- アーサー・C・クラーク(Arthur C. Clarke) 通信衛星の発明者



## まとめ マス・メディアの発達:日本

- 1860s 新聞
- 1925 ラジオ放送⇒94年
- 1953 テレビ放送⇒66年
- 1960s 日本映画黄金期
- カラー放送
- 1990s 衛星放送
- 2000s インターネット



世界で初めてブラウン管に映し出されたのはイロハの『イ』の文字だった。

## まとめ

- マス・メディアの発達はここ半世紀にすぎない。
- 地理的拡大は、マス・メディアが都会人口の排他的な特権でなくなった
- 広大な領域までカバーできるようになったマス・メディアは、新聞や放送局、通信社の重要性を認識、増大させた。
- 識字率の増加？ メディア・リテラシー
- 教育の発達 ペーパーブックの発達
- 多種の図書館出現
- メディアの多様化＝マルチメディア

ジャーナリズム史 I

7

## 抱える問題点

- 新聞 日刊紙の発行部数の停滞－読者の減少
- 地方紙／夕刊紙の消滅
- 編集、印刷業務の革新: IT革命
- 他メディアとの競争
- 放送＝地上波対空中派(既存局と新局)
- 地方局の衰退
- FM局の増加(音質への対応)

ジャーナリズム史 I

8

## 共通事項(1)

- 国際的(国内的)な規模での集中化と独占
- 構造の変化＝急速な技術進展、生産とマーケティングの集中化
- 世界規模でのコミュニケーション能力の拡大
- 情報と娯楽に関連する企業の水平的、垂直的結合

ジャーナリズム史 I

9

## 共通事項(2)

- 種々な部門で活動する企業のメディア拡大への関与
- 種々の情報産業の、大規模で多角的なメディア
- コングロマリットへの合併と統合→プレスバロンからメディアバロンへ
- メガ・メディアからギガ・メディアの時代に

ジャーナリズム史 I

10

## デジタル化の波

- マス・メディアからパーソナルな情報メディアへ
- コミュニケーションの変革期
  - サイバースペース時代のコミュニケーション
- インタラクティブ・コミュニケーションの時代
  - 潜在的個別利用者への情報提供
  - フリーアクセス、グローバル性とローカル性
  - 情報接触(活動)範囲の拡大
- デジタル化:DBの構築、情報の共有、品質の向上

ジャーナリズム史 I

11